TYPE OF INDUSTRY

モノづくり基盤・成長企業

営業にVR導入

仲介360度3D画像提供

オフィスナビ

オフィスナビ（東京都千代田区、金本修幸社長、03・5244・4848）は、オフィス仲介の営業にVR（仮想現実）を本格導入する。従来は紙ベースでオフィスの立体的なレイアウトを提供していたが、より見やすくする。すでに200以上の物件撮影を終え、1年後に1000物件に拡大する。営業ツール活用のほか、オフィス物件のオーナー向けに販売予定だ。

1年後1000物件に拡大

VRグラスを装着し、パソコンやスマートフォンでオフィスの状況を360度、3Dで見ることができる「VRオフィスツアー」と、そのオフィス空間に机やソファ、キャビネットなどを当てはめてレイアウトをシミュレーションできる「VRレイアウト」の2種をラインアップする。

価格はVR撮影代行サービスプラン「VRオフィスツアー」を5万円、大型オフィス用300平方㍍以上で10万円（いずれも消費税抜き）からとして販売予定だ。

エフマイナー（東京都渋谷区）の360度VRコンテンツの制作編集クラウドソフト「3D Stylee」を活用している。「VRレイアウト」は外部ソフトを活用し、何もないオフィス空間に画像上で配置レイアウトをシミュレーション可能だ。

オフィスの状況を360度3Dで、レイアウトシミュレーションも

ホワイトハッカー育成

日立ソリューションズ・クリエイト 技能競技会 開催

来年内20人

【横浜】日立ソリューションズ・クリエイト（東京都品川区、西條洋社長、03・5780・6111）が〝ホワイトハッカー（善良なハッカー）〟の育成に乗り出した。11月中旬には親会社の日立ソリューションズと共催で、同社初の社内向け「ハッキングスキルコンテスト＝写真」を開いた。同社には高度なセキュリティー技術を持つホワイトハッカーが現在4人在籍。日立ソリューションズと合わせて2018年度内に20人を育成する計画だ。

同社は新事業創生に力を入れる。17年4月から社内に「新事業推進センター」を設置。「人工知能（AI）」「超高速開発（アジャイル開発）」「ホワイトハッカー」を三つの柱として新事業化を進める。

ホワイトハッカーの取り組みは16年下期から、現場社員の要望でワーキンググループ（WG）を立ち上げた。所属は約15人で勉強会や週末に開かれる国内外のセキュリティー大会に参戦している。

社内初のコンテストに、9チーム約30人が参加した。「キャプチャー・ザ・フラッグ（CTF）」と言われるセキュリティー競技方法に基づいた課題に挑戦した。プラットフォームソリューション事業部企画部の田中亜友子主任技師は「社内に隠れた知識を持つ人材を発掘したい」とコンテストの目的を話す。

顧客が抱えるシステムやプログラムの脆弱（ぜいじゃく）性を見つけ、是正するビジネスに「脆弱性診断」がある。

同事業部第一ソリューション本部の上野貴之主任技師は「この脆弱性診断やコンサルティングを始めたい」という。現在各部署ごとにいるセキュリティー人材を集約し、数年内に横断的に事業を取り組む体制を目指す。

アナログ表示 数値データ化

タブレットなどと無線通信 絶縁抵抗計を投入

共立電気計器（東京都目黒区、倉本正道社長、03・3723・0133）は、針の目盛りによるアナログ表示をしながら結果を無線でタブレットなどに通信できる絶縁抵抗計「KEW3441BT＝写真」を発売した。電気工事現場の配線や電気機器で、電気が絶縁されているかを確認する。現場作業員は使い慣れた目盛りを使え、管理者は正確な数値を記録できる。消費税抜きの価格は1台4万6000円。年間2000台の販売を目指す。

測定対象の必要な2点に測定コードの先端を当てる。通電していれば、針がふれる。感電や火事などのおそれがある作業前に、安全性を確かめる。

KEW3441BTは、ブルートゥーススマートを搭載し、スマートフォンやタブレット端末と無線通信できる。デジタル表示も同時にでき、電気が通っているかどうかの判断基準である絶縁抵抗値を、数字で正確に把握できる。また数値は端末に記録され、パソコンなどの管理端末に転送すれば簡単にデータを管理できる。作業者のメモをとり、管理端末に入力する作業を省略する。作業者の負担も軽減する。

今後、国内の置き換え需要を狙うほか、人件費が高い国を中心に、海外市場での展開も視野に入れる。無線通信は他の製品でも応用していく考えだ。

情報フラッシュ

◆旭ゴム化工に融資
日本政策金融公庫名古屋支店中小企業事業

旭ゴム化工（名古屋市千種区）に新事業育成資金を適用、設備資金を融資した。融資額は非公表。同社は自動車用オルガン式アクセルペダルの生産で、ロボットによる組み付け作業の高度化、ロボットと樹脂成形機とのリンク機能の高度化、IoT（モノのインターネット）活用による複数品番の自動混流生産システムを構築する。

◆来年2月に商談会
春日部商工会議所など

2018年2月26日14時から東武地域振興ふれあい拠点施設（埼玉県春日部市）で個別面談方式のビジネス商談会・展示会「埼玉県東部地域ビジネスマッチングフェア2018」を開く。参加無料。問い合わせは同会議所（048・763・1122）へ。

健康経営の実践

新聞、テレビなどのメディアで健康経営の言葉を見聞きすることが増えた。健康経営とは、企業において従業員が健康で気持ちよく働くことが会社にプラスになるという視点に立ち、従業員の健康管理を経営の観点で考え、戦略的に推進していく手法である。

健康であれば気持ちよく働き、モチベーションも高く生産性も高い状態で働けるので、当然企業での貢献も高くなる。

東京商工会議所は従業員の健康づくりを通じて生産性向上を目指す「健康経営」に都内の中小企業がどう取り組んでいるか調査した結果をまとめた。

調査では健康経営について「内容を知っている」が27・4%、「内容は知らないが聞いたことはある」が32・6%。全体の6割が何らかの形で認知はしていた。

実際どう取り組むかについては「近い将来具体的な実践の予定がある」が4・6%、「いずれ実践したい」が67・1%。「実践している」がともに22・7%で続いた。

健康経営の取り組み方としては、まずは法的に必要とされる定期健康診断の100%実施から始めることになる。従業員の健康に関するコンプライアンスの徹底が必要である。

法的要求事項を実施した後の取り組み事例としては、「毎朝のラジオ体操や禁煙運動」「健康状態の共有に向けた工夫」「残業時間を削減し、ワークライフバランスを追求する」などが挙げられている。

労働生産性に大きく影響する社員の健康は、生産性向上も含む投資戦略として取り組むべき課題とも言える。そのためには、まずは健康経営の内容を広く周知させることが必要である。

東京商工会議所では、今後は活動方法や効果の上がった例を具体的に伝えるなど、普及・支援の充実を図ると語っている。

経営士の提言

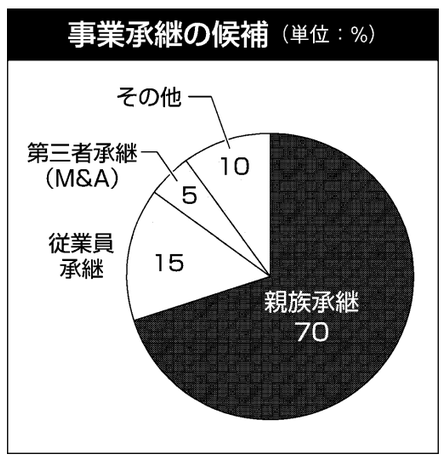
まず健康診断・ストレスチェックから／生産性高める「投資戦略」

日本経営士会・上野延城　03・3843・2438

東商「社長60歳『企業健康診断』」

〝第2フェーズ〟

東京商工会議所墨田支部は、事業承継支援のための「社長60歳『企業健康診断』事業」のキックオフ会議を開催、第2フェーズに入った。これまで東京都江東区実施分を含め50社の申し込みを受け、32社の診断フィードバックを完了した。



事業承継候補 親族が70%

産業基盤・雇用維持 手厚い対策必要

事業承継候補は親族承継だった。事業承継対策として承継候補をどう考えるか、あらためて問われそうだ。

墨田支部は2017年10月から、区内に本・支店を有する金融機関と墨田区で設立した「地域金融機関ネットワーク」を主体として、事業承継に関する支援機関の人材育成、案件発掘、個別企業の支援まで一貫して取り組んできた。

これまでにフィードバックを完了した32社（A）は5%に過ぎなかった。事業承継候補の診断結果を見ると、業歴は57・7年、従業員は11・6人、後継者年齢は43・2歳、売り上げ規模は2億1300万円。

直近3年の経常利益は3期黒字が55%、2期黒字が25%、1期黒字が15%、黒字0が5%と健全企業・優良企業が多かったといえる。

事業承継の候補に関しては親族承継が70%、従業員承継が15%、第3者承継（M&A）は5%に過ぎなかった。診断結果からの提案は承継計画策定が55%、後継者育成が45%、経営課題整理が40%、後継者選択35%で、課題整理、承継計画策定、後継者育成を合わせて実施すべきとの診断が多かった。

事業承継は事業所数の多い小規模企業になればなるほど親族承継が多くなるのは明らかだ。産業基盤の維持、雇用維持の観点からも、第3者承継（M&A）は手厚い親族承継対策が望まれよう。

テラス

西原さん

先代に学ぶ

▽…「社長交代は早い時期で良かった。プレッシャーもない」と語るのは、日藤ポリゴン社長の西原豪男（おさお）さん。2016年5月、32歳の若さで社長を引き継ぎ1年半余り。トップが板に付いてきた。

▽…同社はポリゴンマシンなどを手がける工作機械メーカー。角や溝の多い部品の加工が強み。「先代が会長としているおかげで、たくさん学べる」と謙虚な姿勢を忘れない。

▽…社長に就き「ノーと言えなかった社風」を変えた。部署を越え、密な情報交換を実践。営業が無理な納期の仕事を受注しなくなり「製造の負担が軽減した」。若き指揮官の挑戦は続く。（神戸）

熊本事業所の生産体制拡充

ミライアル

【熊本】ミライアルは熊本事業所（熊本県菊池市、写真）の生産体制を強化した。2016年熊本地震で被害を受けた同事業所の全工場が事業を再開した。12億円を投じて地震前以上に工場機能を高め、耐震性も向上させた。

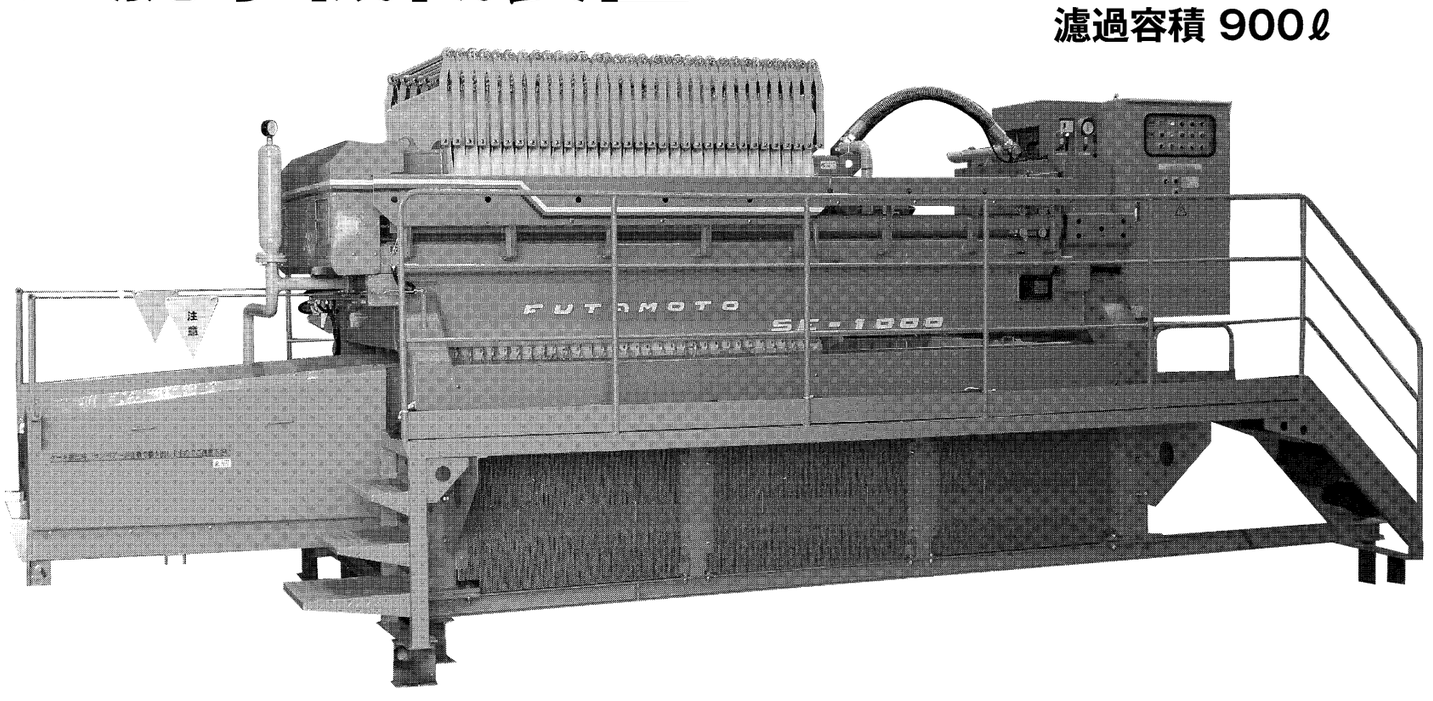
同事業所は半導体の製造工程で使う「ウエハ工程内容器」や「ウエハ出荷容器」などの高機能プラスチックの精密成形を手がける。耐震工事は成形室に鋼管杭や鉄筋配筋コンクリートを施し、検査室の天井の下地補強などを行った。機能強化として成形室と検査室用の大型クリーンルームを新設した。成形設備は射出成形機を新規に10台導入した。

FUTAMOTO
大切な自然と、共に生きるために。
全自動フィルタープレス脱水機械装置
SE-1000NZ-31PB
（ベルトコンベアー仕様）
濾過容積 900ℓ

特　長
- ボタン1つで自動運転
- 濾布の取替え、洗浄が容易
- 幅広なコンベアーで確実なケーキの取り出し
- 狭いスペースに設置可能
- 点検歩廊、コンプレッサー、ベルトコンベアーも一体化で据付が極めて簡単
- 雨よけテント標準装備
- 軽量化
- 処理能力当たりのランニングコストが安い
- 脱水ケーキの取出しが容易
- 脱水効果に優れ脱水時間を大幅短縮
- 取扱は自動により簡便
- エアー圧搾機構を標準装備

先端技術を駆使し、
低価格ローコストへの挑戦
減容固化に最適な
フィルタープレス

主な用途
- 石材廃水処理
- 土木工事による濁水処理
- 生コン廃水処理
- 無機系廃水処理
- メッキ廃水処理
- 半導体廃水処理
- 化学工場廃水処理
- 段ボール廃水処理
- 硝子研磨廃水処理
- 工場廃水処理



明日のために　脱水装置・集塵装置の専門メーカー
二本鉄工株式会社 FUTAMOTO IRONWORKS K.K.　本　社　〒769-2104 香川県さぬき市鴨部4839-1　TEL（087）895-4141㈹　FAX（087）895-4151　http://www.futamoto.com